

仙台市立芦口小学校 学校運営協議会

令和4年8月25日

# 芦っ子協議会だより

芦っ子協議会は、学校・家庭・地域が一体となり 第2号

地域総ぐるみで「子供たちの育ち」を支援する組織です。

連絡先 022-246-0858

編集責任者 榊井 裕



## 第1回あいさつ運動のご報告 —子どもたちは ちょっぴりきんちょう？—

多くの方々のご協力 ありがとうございます



7月初めに皆様にお知らせしておりました『あいさつの 花かおる丘 芦の口』をめざすあいさつ運動を、夏休み直前の7月19日の朝、多くの関係団体の皆様のご協力により実施することができました。芦っ子協議会では、学区内各町内会長様、西多賀、八木山、鹿野地区の民生委員児童委員の皆様、PTA役員の皆様、SBLの皆様などにお声をかけ、この日を迎えることができました。

小学校でも月に一度児童会のあいさつ運動を独自に行っていたそうですが、大変うれしいことに、芦っ子協議会が行うこの日に合わせてくれました。そのおかげで、子供たちも交え大人数でとても盛大な活動となりました。今後も小学生を交えたにぎやかなあいさつ運動になりそうです。

写真でもお分かりのように、町内会や民生委員の方々が、自身の地区内の児童が通学する三門(赤門、青門、黄色門)に分かれることにより、どの通用門でも身近な人たち同士であいさつを交わすことができました。時には立ち止まって会話するほほえましい光景も。校門前で、たくさんの大人たちに囲まれてあいさつを受けるのは、子供たちにとっては、人生初めての経験だったかもしれません。それで、普段は元気にあいさつできる子も緊張して声小さくなったかもしれません。そうした状況でも、地域の方々の多くから、ほとんどの児童があいさつすることができていたと、お褒めいただきました。回数を重ねる中で大人数にも慣れて目標とする「心にとどくあいさつ」に近づけられるのではないかと考えております。

あいさつ運動後、参加者でふりかえりの会を行いました。 「今回児童は二つの門にしか立たなかったけど、どの場所にも大人と子供がいっしょにいるといいね」という感想が出されました。また、「西多賀地区の社会福祉協議会が中心となる福祉団体で作成したあいさつ運動の幟(のぼり)は、運動の様子が分かり、盛り上げ効果もあるので今後どの場所でも活用したい」という意見が出されました。第1回目でしたが、参加された皆さんからたくさんの建設的な意見を頂戴し、今後の展開に大いに意欲を燃やすことができました。

## 《参加者からの建設的なご意見》 ーいくつかご紹介しますー

- ・大人がたくさんいる中でも、目や態度であいさつができていた。あいさつしない子や声が小さい子の思いも配慮していきたい。
- ・回を重ねることにより慣れて自然にあいさつができるようになると思われる。子供たちを見守りながら、今後も定着をめざしとりくんでいきたい。
- ・本日の参加者が、一般の通行の方にもあいさつをしていたことがよかった。
- ・各門で、あいさつ運動参加者同士の自己紹介の時間がもてると、さらに意義が深まるのでは。

## 《子供たちの感想や反応》

5年女子  
地域の人たちからあいさつ  
をうけて心があたたまった。

5年女子  
あいさつすると気持ちよくて  
あいさつを返したくなった。

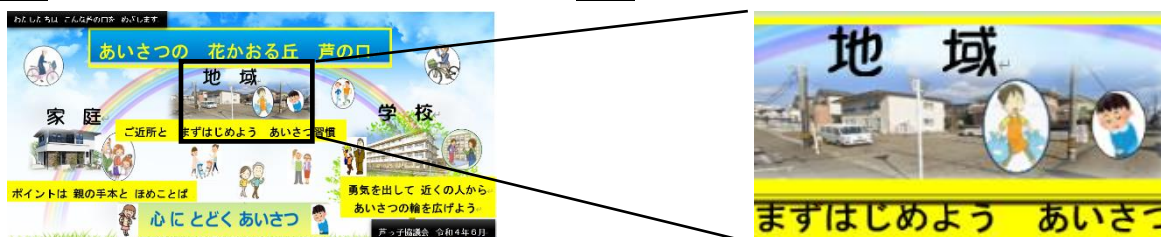
2年女子  
やさしく声をかけがんばっ  
てくれてありがとう。自分も  
いっしょうけんめいあいさ  
つします。

2年男子 2年女子 あいさつは、はずかしい。

## 心にとどくあいさつを 一歩 進める ために

月に一度のシンボリックな「あいさつ運動」はとても大切ですが、日々の地道なあいさつの習慣も同様に大切と考えます。そこで、この協議会だよりで、地域、家庭、学校ごとに示したスローガン実現のための具体的な実践方法について3回シリーズで考えていきたいと思えます。

今回は、地域に焦点を当て、めざすスローガン「ご近所で まずはじめよう あいさつ習慣」実現の具体策を考えます。スローガンのイメージ図の地域のところをご覧ください。



ゴミ出しする女性とあいさつする小学生を描いています。朝のゴミ出し時間帯は、地域内の多くの方の通勤通学の時間帯でもあります。燃える・燃えないゴミ等の日は月に10回ほどあり、平均すると3日に1度はゴミ出し日。この日はご近所同士であいさつを交わす絶好の機会と言えます。大人も子供もあいさつを交わすと幼い子供たちも自然にあいさつする習慣を身に付けることでしょう。

もう一つ、ご近所でのあいさつ習慣の切り札があります。回覧板回しです。基本はお隣へ渡すこと。コロナ禍で難しい側面もありますが、できれば子供にお願いします。しかも手渡しを基本とするなら、お子さんを通し、お隣と良好な関係が築けること間違いなしと言えます。次回は、家庭におけるスローガン「ポイント は 親の手本と ほめことば」の具体的な実践について考えます。

## 地域の実践例の募集

ご近所のあいさつ促進に関し、皆様の身近には素敵なアイデアがたくさんあると思われます。宜しければ、皆様のアイデアを協議会だよりで紹介したいと思えます。遠慮なくお寄せください。

【取りまとめ先： 芦口小 吉川教頭先生】

## 次のあいさつ運動

9月20日(火) 7:45から行います。お時間の許す方は、お近くの校門までお越しください。